

住宅に困窮している状況及び住宅を必要とする理由	住宅の持ち主	自己所有・親族所有・共同所有・他人所有（アパート、借家）			住宅の構造	木造・鉄骨・ブロック・鉄筋			
	賃主及び家賃	氏名		住所					
		家賃月額（光熱費を除く）			円	敷金	カ月分		
	住宅の種類	普通住宅（一戸建て・長屋立て）・アパート・住宅でない建物（ ）・その他（ ） 民間借家 ・ 社宅 ・ 会社等寮 ・ 公営住宅 ・ その他（ ）							
	住宅の使用状況	面積	m ²	居室数	畳室	畳室	畳室		
		水道	専用・共用	炊事場	専用・共用	便所	専用・共用	風呂	専用・共用・無
		1 独立居住（1戸の家を全部使用） 2 同居（他の世帯と共に1戸の家を使用） 3 間借（1室又は教室に限り使用）（※アパート等は、1 独立居住とする。）							
	1	住宅以外の建物又は場所に居住している。				住宅困窮理由の詳細 (具体的にお書き下さい。)			
	2	保安上危険又は衛生上有害な状態にある住宅に居住している。							
	3	他人の世帯と同居し著しく生活上不便を受けている。							
	4	住宅がないため親族と同居することができない。							
5	住宅が狭く世帯人員が多すぎて過密居住である。								
6	間取りと世帯構成の関係から衛生上有害又は風教上不適当な状態である。								
7	正当な理由による立退き（裁判所の判決・官公庁の命令・その他）の要求を受けて立退き先がない。								
8	住宅がないため勤務場所から著しく遠い地に居住している。								
9	収入に比べて著しく高い家賃を支払っている。								
10	住宅がないため結婚できない。								
11	その他住宅に困っている。								

(注)

- 住居入居者募集案内チラシをよく読んだ上で記入してください。
- この申請書は、ボールペンで正確に読みやすく記入してください。
- 「別居している所得税法上の扶養親族」欄の「摘要」は、所得税法上の老年人、寡婦、寡夫、障害者、特別障害者等の別を記載してください。
- 「収入の種類」欄は給与、事業又は年金を記入してください。
- 「住宅に困窮している状況及び住宅を必要とする理由」欄の、「住宅困窮理由」は、該当する理由の番号に○印をつけてください。
- 「給与所得以外の所得」欄の「所得税法に基づく必要経費額」は、内容を証明することができる内訳書を別に添えてください。
- 次に掲げる書類を添えてください。
 - 申込者及び当該申込者と厳に同居し、又は同居しようとする者の住民票
 - 所得証明書、納税証明書その他所得の額を証明する書類
前年度収入所得がなく現在就労している方は、事業所等による収入所得を証明する書類を提出してください。
 - その他町長が必要と認める書類
- その他、不明な点がありましたらお問合わせください。

田野町役場地域振興課 住宅係 電話 0887-37-9316